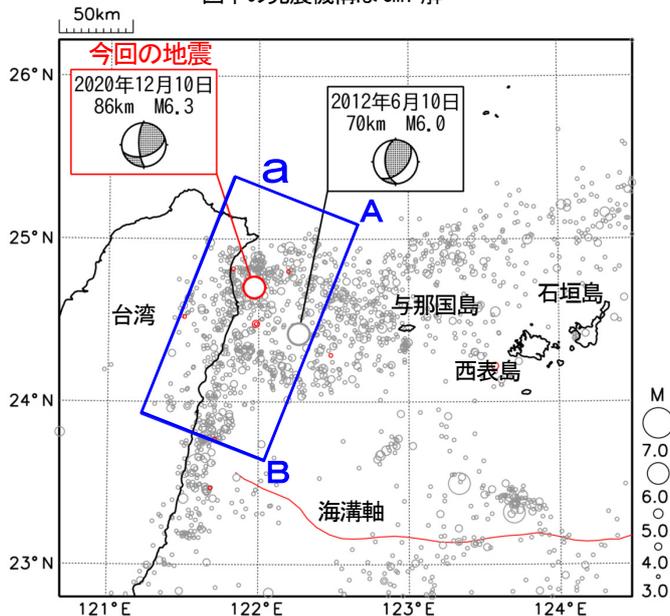


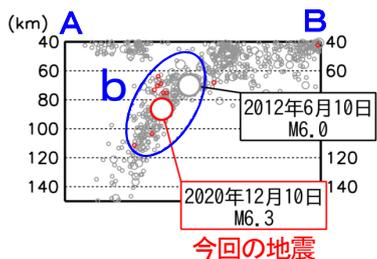
## 12月10日 台湾付近の地震

### 震央分布図

(2009年9月1日～2020年12月31日、  
深さ40～150km、 $M \geq 3.0$ )  
2020年12月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解

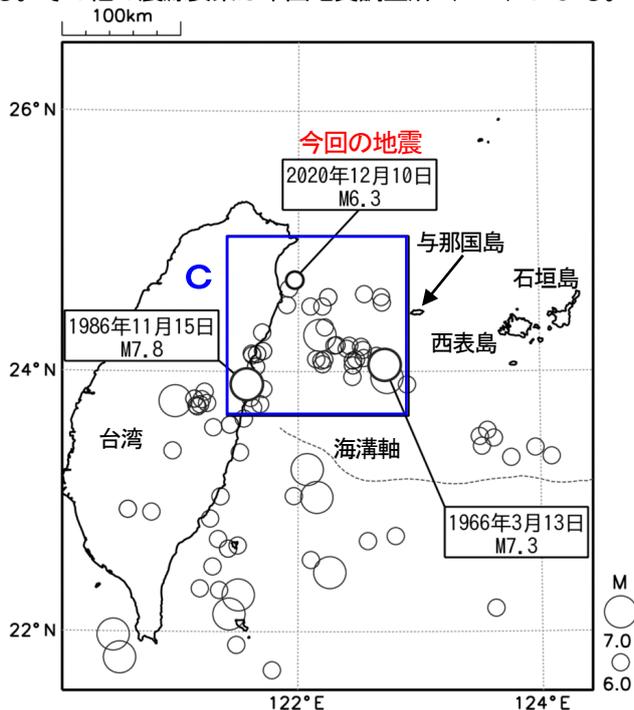


### 領域a内の断面図 (A-B投影)



### 震央分布図

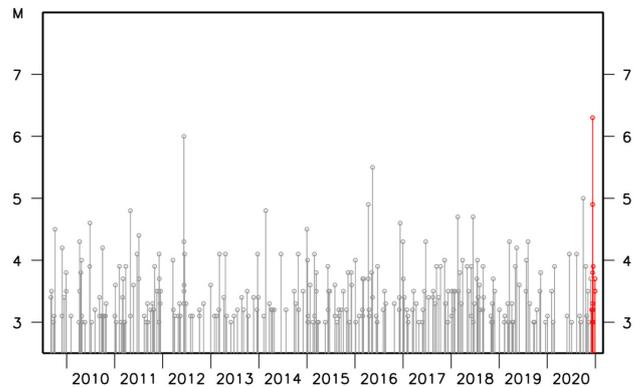
(1960年1月1日～2020年12月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )  
今回及び1966年3月13日の地震の震源要素は気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。



2020年12月10日22時19分に台湾付近の深さ86kmで $M 6.3$ の地震（日本国内で最大震度2）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では、2012年6月10日に $M 6.0$ の地震（日本国内で最大震度3）が発生するなど、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

### 領域b内のM-T図



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1986年11月15日に $M 7.8$ の地震（日本国内で最大震度3）が発生した。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測した。また、1966年3月13日の $M 7.3$ の地震では、与那国島で死者2人や家屋の全半壊等の被害が発生した（被害は、「日本被害地震総覧」による）。

### 領域c内のM-T図

